

米国アカデミー賞公認 ショートショート フィルムフェスティバル & アジア iPhone に続き、iPad 用アプリケーション明日発売！

米国アカデミー賞公認、日本発、アジア最大級の国際短編映画祭「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア（略称：SSFF & ASIA）」を企画・運営する株式会社パシフィックボイス（所在地：東京都渋谷区、代表：別所哲也）は、iPhone 用に続き、映画祭コンテンツの iPad 用アプリケーションソフトを明日、7月1日（木）より販売開始いたします。

■映画祭のグランプリ作品、優秀賞受賞作品などを1パッケージで販売

5月18日より販売開始した iPhone 用アプリケーションは1作品ごとの販売ですが、iPad 用アプリケーションソフトは映画祭で優秀賞を受賞した作品を中心に、プレミアムな9コンテンツを1アプリケーションとして販売します。

これまでの SSFF & ASIA 受賞作品の中から特に優秀な6作品のほか、映画祭でプレミア上映された「ミュージック Short クリエイティブ部門」特別製作作品2作品を含むプレミアムセレクションです。さらに本アプリには、特典コンテンツ映像1点（別途特別製作作品予告編）を含め、計9コンテンツが収められています。

短い作品で約6分、長い作品で22分30秒と、凝縮された魅力的なショートフィルムとなっており、すべて iPad 用にハイクオリティな処理がなされており鮮明な画像が楽しめます。



iPad トップ画面



動画画面

■豊富なコンテンツを背景にした動画配信

パシフィックボイスは、25分以内の「ショートフィルム」作品の映画祭「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア」を企画・運営するほか、ショートフィルムを中心にした映像コンテンツをアジアマーケットや欧米マーケットにも紹介してきました。同社が主宰する「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア」がこれまで上映した作品は、有名監督の初期ショートフィルムや若手映像作家の作品など約1000本に及び、毎年世界約100ヶ国/地域から4000作品以上のコンテンツが集まっています。この豊富なコンテンツを、今後この iPad コンテンツ販売に活かし、クリエイター育成やショートフィルムのマーケット拡大を目指します。

■様々な業界が注目する iPad ビジネス

iPad は、米国では販売3ヶ月弱で世界販売台数300万台を突破し、日本でも5月28日午前8時に販売され大行列が出来るなど話題を集めた米アップル社製新型情報端末です。B5判サイズで画面が見やすく、電子メールや動画、音楽の再生、電子書籍などが楽しめます。iPad はスムーズな動きに加え、動画も美しく、出版業界、新聞業界なども次世代メディアとして注目しています。

■ iPad アプリで観られるプレミアムコンテンツ

この作品は、ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2010 にて「ミュージック Short クリエイティブ部門」特別製作作品として、株式会社パシフィックボイスが製作した作品です。

<木下優樹菜、映画初主演>



「ゆっきーな」

監督：渡邊世紀監督/日本/11:38/ドラマ/2010
使用楽曲：大黒摩季「あなただけ見つめてる」
(あらすじ)

40年連れ添った妻を亡くした大物政治家。ある日、亡き妻の「友達」と名乗る「ギャル」が訪ねてくる。彼女に渡されたビデオ映像には、今まで見た事のない妻の姿が…。

<「秘密結社鷹の爪」シリーズ FROGMAN 監督>



「me, too」

監督：FROGMAN 監督/日本/6:10/アニメーション/2010
使用楽曲：LIL「me, too」
(あらすじ)

自分だけは違う。自分だけは特別だ！
人は誰しも思うもの。しかしそこには超えられない壁がある。ヒトオは、二代に渡って果たせなかった“映画監督”の夢を実現できるのか？

■ 「ショートフィルム」マーケットの拡大

株式会社パシフィックボイスでは、「ショートフィルム」作品の iPad 用アプリケーションソフトの販売権を取得しての販売となります。「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア」における優れた作品を、iPad 用ソフトとして販売し、全世界に「ショートフィルム」の優れた魅力を発信するとともに、販売されたアプリケーションソフトの収益をクリエイターに還元し、未来のクリエイターの育成とショートフィルムのマーケット拡大を目指します。

■販売時期：2010年7月1日（木）

■販売価格：1200円

■特別限定価格：7月1日（木）～31日（土）の期間限定 800円

■特典機能：

iPhone、iPad で販売されるアプリケーション共通の特典機能として、掲示板(つぶやきボード)が設置されます。このつぶやきボードでは、各ユーザーの投稿が自分のいる場所から、どのくらい離れた場所からの投稿されたものなのかが確認でき、自分のつぶやきも投稿出来ます。

今後販売される、すべての SSFF アプリケーションに共通の掲示板として、ユーザー同士で作品について語り合う、双方向のコミュニケーションが可能となります。

■販売目標：

5月18(火)より販売を開始した iPhone 用のショートショート アプリケーションは、発売2週間で50,000ダウンロードを突破しました。iPad アプリケーションでは販売開始1ヶ月で25,000ダウンロードを目標としています。

■アプリケーション名：“映画祭が選ぶ世界のプレミアムショートフィルム”

■アプリケーションアイコン画像：



■「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア」受賞作品



●SSFF & ASIA 2008 グランプリ/ジャパン部門 優秀賞

タイトル: 胡同の一日 A day in the life of Beijing Hutong

監督: 鈴木勉/日本/22:30/ドラマ/2007

(あらすじ)

北京五輪に向けて取り壊される、歴史ある街並み”胡同”。

漢方医のリンも街を出る決意を固めるが…。



●SSFF & ASIA 2009 アジアインターナショナル部門 優秀賞

タイトル: ホテル Z046 Z046

監督: Fu-Hsiang Hsu/台湾/18:06/ドラマ/2008

(あらすじ)

ホテル Z046を訪れる者にとって目的—それは自分たちの秘密を隠すこと。ホテル Z046の使命—それはその部屋に持ち込まれた秘密を守ること。謎めいた 4 人、15 分という時間が、すべての運命を決める。



●SSFF & ASIA 2008 インターナショナル部門 優秀賞

タイトル: 一日限りの仕事 A Day's Work

監督: Rajeev Dassani /アメリカ/16:17/ドラマ/2007

(あらすじ)

引越し仕事を手伝うため雇われた 3 人の移民労働者とアメリカ人家族。簡単な日払いの仕事だったが、双方の誤解から悲劇が起こる。



●SSFF & ASIA 2009 ジャパン部門 優秀賞

タイトル: ハーフケニス Half Kenneth

監督: 落合賢/日本・アメリカ/22:00/ドラマ/2008

(あらすじ)

1943年、ハーフの日系アメリカ人のケンとジョーは、強制収容所で日本人の父親を亡くした。ハーフであるが故に、外の世界にも収容所にもなじめない孤独な二人は、収容所を脱走し、白人の母が住む実家へと旅に出る。



●SSFF & ASIA 2007 インターナショナル部門 優秀賞

タイトル: パパ Bawke

監督: Hisham Zaman/ノルウェー/15:15/ドラマ/2005

(あらすじ)

父と息子はもう長いこと逃亡を続けている。目的地を目の前にして、父は、息子の未来がかかった苦渋の選択を迫られる。



●SSFF & ASIA 2009 インターナショナル部門 オーディエンスアワード

タイトル: 秘密の学校 THE SCARECROW GIRL

監督: Cássio Pereira dos Santos /ブラジル/13:00/ドラマ/2008

(あらすじ)

数十年前のブラジル。両親と弟のペドロと農村地帯に暮らす少女、ルジア。ペドロが学校に通うようことになり、自分も一緒に行きたいと望むがルジアだが、父は許してくれない。そこでルジアは秘密の勉強を始める…。

▼ショートショート フィルムフェスティバル & アジア について



米国アカデミー賞公認、日本発アジア最大級の国際短編映画祭。

1999年、東京原宿で映像王国ハリウッドに集まったショートフィルムを紹介する映画祭としてスタートして以来、有名監督の初期短編映画や、若手映像作家が産み出した作品など、これまでに1000本にも及ぶ作品が、世界約60の国や地域から日本に紹介されています。

2004年には、米国アカデミー賞の公認映画祭として認定を受け、本映画祭でグランプリを獲得した作品は、次年度米国アカデミー賞のノミネート対象となります。また、映画祭開催初年度から毎年ジョージ・ルーカス監督に応援いただくなど、世界中の映画人から愛される映画祭として成長を遂げてきました。年々規模が大きくなる本映画祭は、現在ではアジア最大級、日本で唯一の米国アカデミー賞公認短編映画祭として、明日の映像文化を担う若手映像作家、監督たちの世界へつなげるゲートウェイを創出しています。www.shortshorts.org

▼株式会社パシフィックボイス会社概要

SSFF & ASIA の運営を行う株式会社パシフィックボイスは、太平洋を越えて映像文化の交流がより盛んになることを応援する事業としてスタートしました。

アジアの情報基地 Tokyo と、映像産業の中心地 Los Angeles に拠点を置き、ビジュアルコンテンツの未来の担い手として、世界をつなぐ事業を展開。

また、俳優及びスポーツ選手・文化人を中心に、それぞれの個性を大切に育てるマネージメントを提供している。

社名 : 株式会社パシフィックボイス (<http://www.pacvoice.com/>)

代表者 : 代表取締役 別所哲也

所在地 : 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-12-8 SSUビル4階

設立 : 1994年8月11日

資本金 : 1,000万円

事業内容 :
・アーティストのマネージメント、プロダクション運営
・映画祭の企画・運営
・映像コンテンツの企画制作・販売
・映像および音響の記録媒体の製作・販売
・映像、映画上映の企画・運営
・教育育成事業の企画・運営 など

<プレスに関するお問合せ>

株式会社パシフィックボイス

PR担当 : 菊地・高橋 電話 : 03-5474-8844

E-mail : press@shortshorts.org

<コンテンツに関するお問い合わせ先>

株式会社パシフィックボイス

映像事業部 iPad アプリケーションソフト担当 : 諏訪 電話 : 03-5474-8844

E-mail : sponsor@shortshorts.org